

[22] ラティス・テクノロジー株式会社

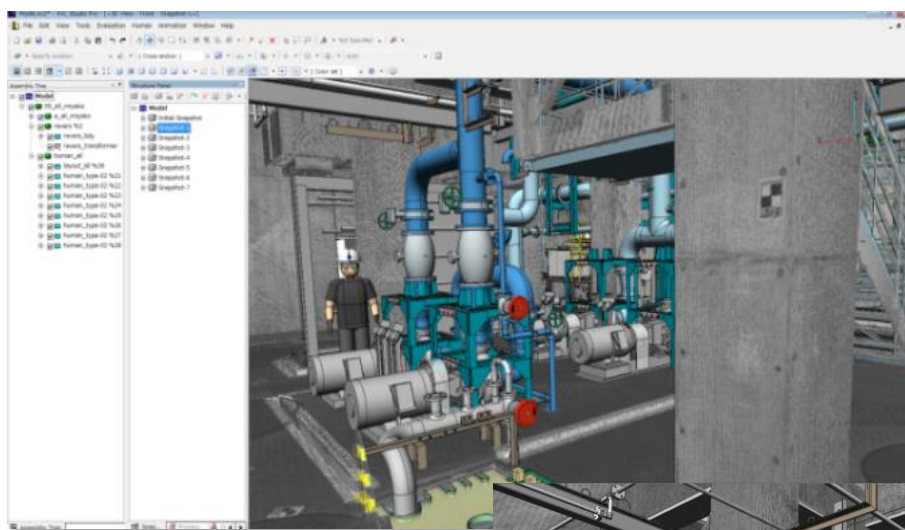
大容量の 3D モデルと大容量点群データを統合する  
DMU ソリューション「XVL InfiPoints」を出展します。



ラティス・テクノロジーの開発した軽量 3D フォーマット「XVL」は、3D CAD データを 1/100 以下に軽量化する技術です。超大容量 3D データを軽快に扱うことができるので、自動車や造船、航空、産業機器など、ものづくり情報を全社で共有し活用する技術として、多くの企業で導入されています。

「XVL InfiPoints」とは、軽量 3D の「XVL」と、株式会社エリジオン（本社：静岡県浜松市）の開発した、現物を計測した大容量点群データを軽快に処理する技術「InfiPoints」の融合により、大容量 3D データの XVL と大容量点群データを統合・検証する、仮想（バーチャル）と現実（リアル）のハイブリッド DMU（デジタルモックアップ）ソリューションとして誕生しました。

セッションでは、XVL の概要ともものづくりを支えているソリューションを中心に、設計部門のみならず、生産技術、調達、製造、サービス、マーケティング、営業などあらゆる部門でグローバルに 3D データを全社活用できるシーンと、「現在と未来の統合」というテーマでリアルな点群データと バーチャルである XVL を組合せた 3D 最新情報 をご紹介します。



※新潟原動機株式会社様ご提供データ